

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

MSWニュース 10月号

2020年10月1日発行
No100

事務局：沖縄県総合福祉センター
西棟2階 小規模団体室

〒903-8603

那覇市首里石嶺4丁目373-1

TEL 準備中

FAX (098) 893-1221

E-mail: Jim.msw.oaswhs@gmail.com

編集：安里 徳幸
(沖縄赤十字病院)

MSWニュースは毎月1日

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会ホームページに更新掲載されています

<http://www.msw-oaswhs.jp/>

MSWニュース SNS 配信開始のお知らせ
があります！！

各会員必ず確認してください。

☆contents☆

- ・MSWニュースのSNS配信についてのご案内……………P2
- ・トピックス「沖縄タイムス 暮らし相談(医療)」……………P3
- ・9月理事会議事録……………P4～6

<休載>

新入会員紹介、研修参加報告、在宅医療・介護連携報告、自主勉強会報告、
研修部会からのお知らせ

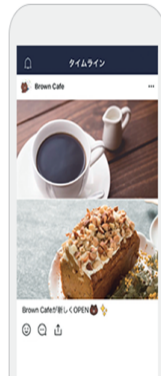
MSWニュースのSNS配信についてのご案内

R2年度中には、紙面でのMSWニュース郵送を終了したいと思います。ホームページ掲載は継続します。

R2年度総会資料と一緒に、会員の皆さんへQRコードを郵送済みです。
沖縄県MSW協会員の皆様は、下記の流れに従って登録して頂くようご案内いたします。

使い方

- ・タイムライン
研修報告など協会活動を
見ることができます
- ・トーク画面
協会からのお知らせを確認します
- ・メニュー
協会ホームページ、研修、MSWニュース
それぞれのリンクにジャンプします



友だち登録の方法①

LINEを開く

- ①左下の△（ホーム）をタッチ
- ②検索欄に入力
「沖縄県医療ソーシャルワーカー協会」
- ③「友だち追加」

完了!!



友だち登録②

LINEを開く

- ①検索欄の右端にある□のマークをタッチ
（QRコードリーダーが起動）
- ②QRコードに合わせる
→協会LINEにジャンプ
（QRコードは、5月総会案内と一緒に郵送済み
です。ご確認ください。）
- ③「友だち追加」

完了!!



ぜひ、協会LINEに友だち登録を!!

ご意見、ご質問は
広報部担当までお願いします

沖縄協同病院 地域連携課

長（おさ） 098-911-5167

ハートライフ病院 患者総合支援センター

高澤 098-895-3255



『ノートで言葉を共有』

沖縄タイムス暮らし相談(医療)

2020年9月21日(月)掲載済

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 高江洲 アヤ子

がん末期で入院中のAさんはほぼ寝たきり。食事が取れなくなり24時間の輸液。難聴でコミュニケーションは筆談。戦争の負傷で独眼でした。一人暮らしのAさんに今後の希望をお聞きしたところ、「家に帰りたい！」と力強く意思を伝えてくださいました。そこで調子の良い日にケアマネジャーと介護タクシーで自宅へ。古くて小さな寝床に横になった途端、Aさんは病院では見たことのないしわくちな笑顔で「いいところでしょう！」と。その言葉を受けて、訪問診療・看護、ヘルパー等、在宅サービスの専門職へ引き継ぎをし、自宅へ戻られました。Aさんは主治医の予測を超え、安らかに自宅でのおみとりとなりました。

さて、自宅ではどのような暮らしだったのでしょうか。寝床にはノートが置かれ、在宅サービスの専門職が日々Aさんの言葉を記していました。ある日の記述から。ヘルパーが訪問すると、本人がベッドから床にずり落ちていたとのこと。「倒れていたのでびっくりしましたが、照れ笑いをしながら『私は歩けないのがわかりました。情けないけど…もう歩くのはしません。私は胃がんになって4年になります。もう良いでしょう。病院には行きません。この家で死にたい』とおっしゃっていました」。筆談も交えながら聴き取った言葉が残されていました。

人生の最期について語らうなど縁起でもない…。Aさんのように率直にお話することに躊躇される方もいらっしゃるかもしれません。でも必ずやってくるその日。信頼のおける誰かに希望を伝えておくと、その大事な言葉はケアにあたる専門職へ引き継がれます。戦禍を乗り越え、懸命に一人で生きてこられたAさん。関わりはAさんの人生のほんのわずかですが、ずっと私たちの心の中で生き続けています。(県医療ソーシャルワーカー協会・高江洲アヤ子)

* 2020年度、毎月第3月曜日の沖縄タイムス「暮らし相談(医療)」欄に掲載されます。皆さんご覧になって下さい。

9 月理事運営会議録

2020年度 MSW 協会理事会 9 月議事録

日時: 令和 2 年 9 月 23 日(水) 19:00~21:45

場所: 沖縄県総合福祉センター ボランティア室

【出席者】: 新垣哲治(司会)、當銘由香、安慶名真喜、秦克之、伊禮智則、樋口美智子、石郷岡美穂(書記)、長原野、小橋川聡、大久保礼子、井上美枝子、オブザーバー: 宮城

【欠席者】: 高江洲アヤ子、香村真範、山城つきえ、奥平藤也

【各部報告】

1. 社会活動部: 秦、宮城

- ソーシャルワーク学会(今年度担当は PSW 協会)
ウェブ方式で開催。分科会を従来の 3 分科会から 1 分科会に減らす。
各団体から基調講演演者の候補者を出すことになった。
→コロナ禍の社会問題はどうか。
労働者の問題(ハローワーク等)、困窮者の問題(社協、パーソナルサポートセンター等)
- 福祉の窓 →担当者確認

2. 広報部: 長

- 10 月ニュース担当: 安里(沖縄赤十字病院)
- ホームページ(スマホ対応版)業者との打ち合わせ最終段階について報告を受けました(長、高澤)。
 - 現在 LINE 登録者 89 名。100 名に達し次第、紙のニュースを廃止検討します。

3. 研修部: 大久保

- 8 月、9 月に開催予定だった初任者研修は延期となった。今年度内に開催予定(日程は未定)。
- 開催方式は社会状況をみてウェブ方式、集合研修かを決める。
今後いかなる社会状況にも柔軟に対応できるよう、集合以外の開催方法に慣れておく必要がある。
研修動画を制作しておくのはどうか。
受講者の出席(視聴)履歴の把握方法も要検討。
- 九州協議会のブログ継続について協議中だが終了の可能性もある。

4. 事務局: 伊禮

- 入退会について報告を受けました。退会 3 名
- 新理事体制のあいさつ文(案)について承認しました。→今月中に送付予定。
- 協会の携帯電話の管理方法について協議しました。
登記が終了次第契約し事務局の田福さんに所持してもらう。
※事務局への連絡は原則 e-mail にする。(協会の封筒にメールアドレスを印字)
- 新理事の名刺について最終稿の確認を行いました
- 議事録の決済方法について協議しました。→次回協議
- 休職中の会員の会費徴収について協議し、現状維持することになりました。
※退会届を出さない限り年会費は徴収することになっており、また、会費の滞納があると退会措置となる。

5.派遣、委託事業関連

- 沖縄県入退院支援連携デザイン事業：樋口
 - ・次年度の予について報告を受け、今後の方針について協議しました。
次年度はの委託費が300万円規模に減額。事務局機能を維持するには人件費の確保は必要で、そのためには今後の受託事業や当協会の展望・方向性を理事会で協議したい。(新垣)
 - ・「心得版」のポスター、パンフレット案が9/25のWGで決定する。
心得版の普及啓発や印刷物の配布方法は地域の実情にあわせて各圏域で取り組むことになっている。
 - ・研修開催方法について協議しました。
日 時：11月28日(土)13:30～15:30(専門職研修)、2月
場 所：ウェブ方式 ※研修部がイニシアチブをとり企画・運営にあたる。
(仮題)「COVID-19 感染拡大<緊急事態宣言>下の入退院支援連携について」
各専門職から事例紹介、意見交換、その他
パネリスト候補：県立中部病院 SW、県立宮古病院 SW、退院支援看護師(南部医療圏)、ケアマネジャー、訪問看護師 等 ※候補者の打診は理事で分担。
 - ・2月(多職種研修)
「ヴァルネラビリティへの支援 -ソーシャルワークを問い直す-」沖縄大学 玉木千賀子先生

6.在宅医療・介護連携推進事業関連

- 那覇市在宅医療・介護連携ネットワーク会議：伊禮
 - 日 時：9月4日(金)19:30～21:00
 - 場 所：ウェブ方式(那覇市医師会)
 - ・各作業部会報告 A(救急)、B(施設)ちむぐるルール、C(市民への普及啓発)
 - ・10/7(水) 11:30～ FM 沖縄「ハッピーアイランド」で活動紹介。
 - ・救急キット活用の現状 利用者 3,000 件(実際の活用 年 23 件)
 - ・キットの情報の定期更新は、かかりつけ医の協力が必要

- 中部医療圏多職種連携会議：秦
 - ・8月～9月に3ブロックの会議に参加した。

7.その他

- 那覇市チャージャガンじゅう課との協議報告：當銘
 - 日 時：9月18日(金)
 - 参加者：當銘、安慶名、長
 - ・連絡票活用状況報告：減少傾向。(コロナ禍で病院職員が家族に会えないのが影響か)
 - ・調査員の病院訪問時間：調査員の病院滞在時間短縮のため定時にしたい。(午前1回、午後1回等)
 - ・調査時の家族立ち合い：可否について病院の指針を示してほしい。
 - ・被調査者の病状変化の事前連絡：未だ困るケースあり。
 - ・リモートで対応した事例の検証を検討している。

- 沖縄県地域両立支援推進チーム会議報告：大久保
 - 日 時：年1回
 - 場 所：沖縄労働局
 - ・配布物に関する協議
 - ・企業向けフォーラムの開催報告
 - ・今後の研修会の企画(看護師やソーシャルワーカー向け等)
 - ・勤務先との好事例を冊子にするなどの案がある。
 - ・チームメンバーにアンビシャスも新規参加する。

- コロナ確定後患者の退院に関する調査(退院困難事例)について:新垣
- ・コロナ確定患者、非コロナ患者について調査を検討
 - 回復後の退院、転院調整に困っている事例がある。
 - (例) 風評被害を恐れて受け入れてもらえないなど

議事録署名人 : 新垣 哲治

次回理事会:10月19日(月)19:00～ 司会:當銘 書記:香村 連絡係:伊禮

☆編集後記☆

月日が流れるのは早いもので、今年もあと2ヶ月……。今年は特に感染予防に伴う新たな日常、新たな習慣、皆様も忙しい日々をお過ごしかと思います。体調には気をつけていきましょう。

日々業務でお忙しい中、期限までに原稿を届けていただき、ありがとうございました。

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 ホームページ

<http://www.msw-oaswhs.jp/>